

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	トミオカコネクト 平野教室			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～	令和7年 4月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・体操選手も練習で使用する本格的な体育館と本場の器具が使用できる。	・言葉でのやり取りが難しい児童、目視優位の児童に写真や絵カードを用いて視覚支援を行う。 ・集団活動、集団行動が難しい児童には個別の声掛け。	・会議にて児童たちの近況報告。療育、支援の内容を検討する。
2	・体操専門のプロが指導する。児童指導員や保育士が補佐をする為、体操と療育の専門職員が複数人在籍。	・体操療育をはじめ、児童それぞれの能力や興味に応じて対応が可能。 ・状況に応じて内容を調整できる。	・保護者との綿密なやりとり。
3	・イベントなど 体操以外の活動も多岐にわたる。	・学習支援、余暇活動、自由運動、クッキング、外出レクチャーなどを実施。	・内容がマンネリ化しないように管理。初めての試みを大切にする。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・親子でニーズに相違がある場合。	・体操や運動が不得意、苦手、嫌いな子どもと、我が子に体操や運動をしてほしい保護者。	・体操種目のみに捉われず、上記のように様々な活動を実施し、職員との信頼関係を築く。柔軟な内容やイベント活動を今後も継続していく。